べ 物 記念物ト シ ン依 テ同 **≥**⁄ テ 之 地 = シテ指定セラレ 心ノ植物が 暖 性 植 群落ヲ天然記念物ト 物 混 ø 生 一群落 ノ生 成 シ セ テ指定サレンコトヲ望ム」トノ意見ニヨリ昭和二年四月八日遂ニ天 ラ V 刄 n 1 點 = 於 テ植物生態學上及 Ľ 分布 壆 Ŀ 珍 稀 ナ n Æ , ŀ 云 フ

## 〇陸中國九戸、膽澤、江刺郡邊ノ植物方言一 班

今岩手縣陸中九戶

郡

膽澤

郡

並

三江

刺

郡

過ノ植

物

方言中其意

味

ノ面

,

岩 手 佐

Þ

木

喜

假名遣ニ據ラズニ 白 イモ ノ或 食用 タ ŀ / い發音 ナルモノ等若干ヲ玆ニ 通 リニ記シ タ 擧ゲテ見ル、 屬 ス ル 從 方言ハ正式 ッ

並 三風 澤 **八縣** 俗 , 南 相違 デ 伊達藩領、 ス ル所亦少 九戸ハ縣北デ南部藩 ナ 2 ナイ 水澤町

ハ膽! =

澤郡、

種

市

村 ァ

ハ

九 言

戶

其

佐々木喜一君 (岩手縣九戶郡種市村

宿戶小學校長)

(昭和四年三月摄影)

『もこなかせハッ谬(あきのきりんさう)嫩葉ヲ食フ●さらげばなハッ漻(あづまぎく)皿ノ様ナ花ノ意●あっぱがゐど |下ノ「アンチック」ノモノガ方言デ( )内ノモノガ通名デア 二屬 ススル

爲 ぎ~)松前即テ北海道カラ來タトノ意●ほれぐさ村。(かうぞりな)惚草ノ意、即チ葉ヲ取リ投ゲレバ着物ニ附 村 (あづまぎく)あっぱハ母ノ意、 北海道カラ來タトノ意 ル爲メ●ちゃんこぐさが澤(ときんさう)ちゃんこハ小サイ意●つなみぐさ種。(ひめむかしよもぎ)當村ニ メ斯ク名ヅク●つけいも積市(きくいも)鹽漬又ハ糠漬トシテ食スル爲メ●まつまえいも水澤(きくいも)松前即 ●ててっぽっぽ<sup>水澤</sup>(たんぽぽ)てでっぽっぽハ山鳩ノ鳴聲、 此花ヲ採レバ母ガ井戸ニ投身スルトノ迷信ガアル 此山鳩ノ鳴ク季節ニ 開 明 花 ク

膽澤、 江刺郡邊ノ植物方言一斑

十九

陸津浪後繁茂セ

テ此名ガアル

ちちるこ水澤

,ははとぐさ)ははこヲちち

ح ۱

云へ ŀ

ち

ニ附クョリ斯ク名ヅ

"

ははこト

ハ云ハズ、

葉ヲ草餅

ŀ ŋ ŀ

スル●ほれだま村で(をなもみ)惚玉ノ意、果實ガ着物

江刺郡邊ノ植物方言一斑

發月五年六和昭 うさう)折レバ白汁ヲ出ス爲メ●ぼんばな村市(さきゃう)お盆ニ墓前ニ供ヘル花故云ヲ●ののば叭澤(つりがね薬(蟲齒)、端午ニ屋根ニ挿ス●かぶくさ村市(はちぢゃうな)葉ガ蕪ノ葉ニ似タル故 ●うるしぐさハ澤(はちぢ食ヲ●やまごぼー極市村(やまぼくちた)を野云J、おやまぼくちヵはば)葉ヲ草餅ニ入レル●ゆむぎスス澤町(よもぎ)草餅、只年中ノ意デ年中花ヲ着クルノ意●ばっかいハ澤(ふきノタウ)食用●しどげ叉しどぎスス澤町(もみぢがさ)嫩カキサ年中ノ意デ年中花ヲ着クルノ意●ばっかいハ澤(ふきノタウ)食用●しどげ叉しどぎハ澤町(もみぢがさ)嫩カキサ がほ)花ニロヲ當テヽこし〳〵ト言ヘバ小キ蟲ガ出ル(當地デハ實際ニ出ル)●ごまじろ村市がまじろホャ澤(がが疣収ノ薬トスル●あめふりばなっこホャ澤(ひるがほ)此花ヲ採レバ雨ガ降ルト云フ迷信カラ ●こしこし種市(ひ リテ花蜜ヲ吸フ卽チ乳花ノ意●やまぎり種市(くなぎ)葉ガ桐ノ葉ニ似ル がほぼづき)質ヲ食フ、「ミルクキャラメル」ノ味ニ似ル●ちちばなこが澤(うつぼぐさ)子供等一花ヅヽ抽キ取 意●びっち種市(とまと1)鹽漬ヲ食スル時最初ノ一口目ハびっちト音シテ果肉ヲモラス爲メ 種前村(がまずみ)實ヲ食フ・てっぽーだま村・(かんぼく)實ヲ豆 鐵砲ノ丸ニスル・まるこっぱ種市(おほばこ)圓水澤町(がまずみ)實ヲ食フ・てっぽーだま極市(かんぼく)實ヲ豆 鐵砲ノ丸ニスル・まるこっぱ種市(おほばこ)圓 イ葉ノ意●びっきのはが澤(おほばこ)びっきハ蛙デアル●にどいもが澤(じゃがいも)年二囘收穫ガ出來ルいもノ 粒ノ如キ故 んじん)嫩き苗ヲ食フ ときしらず種市(ひなぎく)開花ノ季節ヲ知ラズ年中花ヲ出シ咲ク故名ヅク●いちねんぢゅー叭澤(ひなぎく)一 ●こがねが澤(をみなへし)花色ョリ名ヅク●おぐみ又らぐみが澤(うぐひすかぐら)實ヲ食フ● ●きんぱい水澤(れんげう)花ガ金杯ニ似タル故● (もみぢがさ)嫩カキ時 ●はっつぶ村市(い でーみ る VC

町"(えごのき)果皮汁デしゃぼん玉液ヲ造リ種子ハやまがらノ飼料デアル●

お 一めどち 村市(くりんさう) めどち

たえつつじ 町澤(さ

種毛ヲ針サシニ入ルヽト針ガ錆ナイト謂ハレル

櫻草デ大櫻草ノ意●しちかいそーが~(くりんさう)花ハ輪生シ七階モ重ッテ咲ク草ノ意

まめ<sup>叭澤</sup>(ゑんどう)一年二囘收穫出來ルトノ意●すがわり<sup>叭茲</sup>(ゑんどう)すがハ氷ノ事、早春氷ヲ割ッテ發芽ス 町 (ひめうこぎ) 嫩葉ヲ食フ●おしゃらくばな又じょろーばな九戸郡(おほまつよひぐさ)おしゃらくモ女郎モ水澤(ひめうこぎ) 嫩葉ヲ食フ●おしゃらくばな又じょろーばな九戸郡(おほまつよひぐさ)おしゃらくモ女郎モ 果皮ノ一片ヅヽヲ取リテ幾ツモロノ下脣ヲ揷ミ其兩端ニテ脣肉ヲ壓シ遊ブ、くちどめハロヲ留メルノ意●にど のしゃうと)葉形ガ猫ノ足ニ似タル故●く**ちどめ**輝市(げんのしゃうこ)兒童ハ其果實ガ開裂シテU字形ニ曲レ のき種市(まさき)年中緑葉ノ木ノ意●いぬのくそまき種市(まゆみ)材少シ臭ィ、 をのき種市(うりはだかへで)樹皮青シ●こめのき水澤(みつばうつぎ) 蕾ガ米粒ノ如キ故云フ、 ヲック、實ハ食フ ●こまぶどー叉さなづら積(えびづる)こまぶどーハ小サキぶたうノ意、づらハつるノ意、果 即チ陸上ニ在ッテ蓮ノ葉ニ似タル葉ヲ有スルトノ意●ぶどは咻澤(えびづる)ぶだう嶺ノ葉ニ似タリトノ意、草餅 (あらぐみ)實ヲ食フ、からハ唐ノ意カ●しゃごみハャ澤(なつぐみ)實ヲ食フ●をかはしばハャ澤(のうぜんはれん)岡開花スル様ヲ形容シ呼ンダモノ ●みそすりばなハャ澤(みそはぎ)お盆ニ墓ヲ飾ル花 ●ぐみ種市からしゃごみハャ澤 つき)たゑ 意●まつまえいちご材で(おらんだいちご)松前即テ北海道カラ來タいちごノ意●こめのき水澤(しじみばな)ソ まつぶどー村市(さんかくづる)果實ヲ食スル、其未熟ノモノ松ノ臭アリ故ニ云フ ●ベごのあち村 (くまやな ハ食フ●ぶどー種市(やまぶどう)●どしぶどー又めくらぶどー村市(のぶだう)●せいよーぶどー種市(ぶだう) 花ヵラ名ヅク デアル、夕方咲キテ化粧スル爲メ云フナラン ●ぽっかり<sup>水澤</sup>又ぱっかりそ**ー**稻瀬村(おほまつよひぐさ)急速ニ ハ田 水ノ出ル木故火災ノ豫防トシテ棟木トスル事モアル ●やまが積前村(やまばうし)實ヲ食ノ●お ●かばざくら又くろかば<sup>種市</sup>(やまざくら) 櫻皮ヲかば下云 に種々ノ細工物ニ用ウ、 ・あかき種 印材トスル●ねこあし吹澤(げん (みづき)樹皮赤 嫩葉ヲ食フ●あを 'n E くろかば 月 څ

陸中國九戸、膽澤、江剌郡邊ノ植物方言一斑

)らかばニ對シテ云フ●いどくさ横市(ゆきのした)井戸ノ邊ニ生ズル故●ふくろぐさ咻澤(べんけいさう)葉ヲ揉

のう)二年目ニ開花スル故●ねこのみみ種で(するせんのう)薬形ガ猫ノ耳ニ似テ居ル故●あけずぐさ

「ないり ぶし)當地ニテハ文章ニ現ハレタル櫻ヲ此こぶしト混同スルコト一般デアル●いとざくら又たらちざくら青森縣 當地ニハ芍薬ノ語ナク芍薬モ牡丹ト云フ リ云フ (こぶし)いとハ大麻デアル麻ヲ蒔ク時、又田打テノ頃開花スル故云フ●にねんそー又にねんぐさが澤(すゐせん ¬¬●とりき<sup>種市</sup>(おほばくろもじ)樹皮ノ煎汁ハ雞ノ薬トナル故●しらがばば<sup>叭澤</sup>(おきなぐさ)其果實ノ樣子ョ 場處ニ生ズル故云フ●おんないしくさが深(まるばまんねんぐさ)●きんちゃくばなが深(けまんさう)花形ョ テ Ū まりばな吹<sup>※</sup>(おきなぐさ)成熟セル果毬ヲ集メテ毬ヲ造ルョリ云フ●やまぼたん種<sup>市</sup>(やましゃくやく 画 如 クフ ŋ / ラマ 也 n 爲 メ おとこいしくさが澤(をのまんねんぐさ)いしくさい おこーのき村市(かつら)葉ヲ乾カシテ御香ヲ製スル 石草 ●さくら種市(こ ノ意 石 垣 ŋ

**こち**水澤ベビこ郡
(ねこやなぎ)いぬっこハ犬ノ子ノ意、こちこちハアヤシテャル時ノ聲、ベごハ牛ノ兒ナリ● メテ川ニ流ス行事アリ斯クシテ室内ノ蚤ヲバ全部コノ舟ニ乘セテ流シ去 う)夏菜ノ意●まっこのすかっぱ咖啡(ぎしぎし)まっこハ馬、 はきぐさ種市(ははきぎ)はさハ箒ナリ 尖り居ル故云フ、けとぎハけいとうノ當地方言( ーが澤(やまごばう)と1ハ唐ノ意、嫩葉ヲ食フ●やりこけとぎが澤(すぎもりげいとう)やりこハ槍デアル花穂ガーが澤(やまごばう)と1ハ唐ノ意、嫩葉ヲ食ベル草ノ意●ひでりこが澤(まつばぼたん)乾燥ニ耐ユル意●と1ごぼびゆ)あけずハとんぼデアル、どんぼノ食ベル草ノ意●ひでりこが澤(まつばぼたん)乾燥ニ耐ユル意●と1ごぼ ながいも)一年で肥大シ收穫ノ出來ルいもノ意し ノ質ヲ當地ニテのみのふねト呼ブ蚤ノ舟ノ意デアル、 はなしゃうぶノ總稱)かっこ鳥ノ鳴ク頃開花スル故云ラ●いちねん ●くさぼき水澤(ははきぎ)ぼさいぼうきデ箒ナリ ●なつな水澤(ふだん ●とりのけっちゃか積市(けいとう)けっちゃかいとさか ●ばかいもサッザ(ながいも)大形ナレドモ粘氣少キ爲メ馬鹿い 秋ノ彼岸ニコノ實ヲトリ座敷ニ撒キ散ラシ後チ掃キ集 、こハ意味ナシ、すかっぱハ酸イ葉ノ意、 ルトカ云フ 唇瓣ハ女ノ生殖器ニ似タル故云フ ぬっこ種市い 此ぎしぎ ぬここち

意、食用ニスル ●あづきもだち桝で(せんぼんしめぢ) 菌傘ハ小ク多數デ 恰モ小豆ヲ散シタルガ 如キ故云フ、村市(てんぐさ)ところてんノコトヲてぬト稱スル●すずめのあしがらみ様市(かもがしらのり)雀ノ足ニ引掛ルノ ァ●ぼっちょわかめ村。(すぢめ)食用ニスル、ぼっちょハ凹凸アルノ意、一ニざるめト呼バレル●てぬくさ那戸 あまっこハ甘味ノ意デアル くゎんざう)葉柄ヲ内面カラ强ク吸へバびIぴIト鳴ル ŀ (くろぐわゐ)莖ヲ指ニテ壓セバビリ~~ト晉ヲ發スルカラノ名 ● ブ ねこだまが澤 (じゃのひげ)ねこだまハ猫ノ目玉ノ意、 ●きつねのちょーちん種市(からはなさう)果實ノ形カラノ名 ●びりびりぐさ 紅刺郡 ●あまっと村市(しろばなえんれいさう)果質ヲ食フ、 碧ク光ル實カラ名ヅク ●ぼんめ叭澤(とんぶ)お盆ニ佛前ニ供へル故云 ぴーぴーぐさ種市

食用トナル●すずめのわかい町澤(せんぼんしめぢ)菌傘ハ雀ノ卵ニ似ラ居ルトラ此名ガアル●なんばきのこ
水澤 (べにたけ)なんばん卽チたうがらしノ如ク赤イカラ云フ 稱スル、 ソレユエくりたけヲくりのきかっくえト呼ブ ●あづきもだち稱『(せんぼんしめぢ) 菌傘ハ小ク多數デ 恰モ小豆ヲ散シタルガ 如キ故云フ、 ●ぼれめきハボービ(ならたけ)菌柄ヲ折ルニボレー

## )伊勢ノ御葉つきいてふ

物研究雑誌六卷一號ニ「御葉つきいてふ」ニ就ラ牧野先生ノ記事、

7

デニ玆ニ

御知セ

スル次第デス、

伊勢デ現在知ラレテ居

矢

伊

勢、

頭

獻

同二號ニ向坂先生ノ記事ガ ァ リマ シ

伊勢國 志郡、 Щ **外居町、** 合村、 大字其村、 縣立農林學校内(私ノ母校デス) 長圓寺境內

|御葉つきいてふ」ノ産地ハ次ノ三 ヶ所デアリ 「御葉つきいてふ」ハ伊勢ニモ産シマスノデ參考